

質問事項	質問の要旨
<p>1 復興後の行政区再編について</p>	<p>新行政区大原北区が昨年7月に新設されました。</p> <p>平成27年度以降、次々と自立再建用地と災害復興住宅が完成しますが、新たな行政区の区割りはどのように考えているのか全くわかりません。既存の住宅地域に新築された、荒立西、東についてもです。</p> <p>女川町の地域福祉計画の概要では、今後の高齢化率を踏まえ地域の支え合いを提唱していますが、昨年度開催された、社会福祉協議会の地域懇談会において、多くの住民から新たなコミュニティづくりに不安があるという、意見が出されました。既存の住宅地は半数以上被災世帯ではなく、被災世帯との考え方の違いを心配しております。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 今後どのような行政区区割りとなるのですか。</p> <p>(2) 合区したことにより、行政（執行部）としてのメリット、デメリットはなんですか。</p> <p>(3) 地域支え合いは必要課題と思いますが、地域での見守りや地域でのコミュニティづくりはどう図られていくのですか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
2 日蕨地区の道路について	<p>日蕨地区の18世帯は震災後、隣人同志が協力し合いながら、今日に至っています。</p> <p>しかしながら、住人の高齢化に伴う心配事が、大変複雑化しているのも事実です。まず、第一義にまた同じような震災を想定した場合、どう避難したらよいのか、緊急的事態が生じた場合どうしたらよいのかと、全世帯の方が心配しています。</p> <p>それは何かと申しますと、この地域の道路は袋小路となっていて、車のUターンする場所も無く、奥に行けばいく程、狭隘しているためバックでしか戻ることができません。震災前でしたら、空き地があり緊急車両等が入ってきても旋回する場所があったり、また、徒歩の場合でもふるさと林道に避難することもできましたが、震災後、ふるさと林道も整備され道路が高くなり、徒歩での乗り越えができなくなりました。今後、火災や緊急事態が発生した場合も考え、総合体育館に通る道路が必要と思われます。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 災害等緊急時の対応は、どうするのか。</p> <p>(2) この地区の高齢化率は41%となっている。</p>

質問者 佐藤良一

質問事項	質問の要旨
	<p>今後、町民バス等の交通機関の利用が必要となる ことが想定されるが、対応策はあるのか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>